

- 1 生徒はもちろんですが、職員の絆や団結感がより高まる
- 2 陸上はすべての競技の基礎。ただ大会の為ではなく今後の人生自分の健康づくりの為にも必要なもの。
- 3 人間関係形成能力・社会形成能力の育成
- 4 体力の向上、支え合い・励まし合う事を学べる、頑張っている仲間達を応援する気持ちを育てることが出来る
- 5 普段関わりの少ない生徒との関わりが増えたとし、普段見ることの出来ない一面や心身の成長を感じることができた。大変ではあるが、職員間も含め学校が一体になれる良い取り組み。
- 6 成果
 - ・夏休みから各部の基礎（走り込み）がつかれる。
 - ・学校全体で取り組み事により、学校全体に活気が出てくる。
 - ・夏休みの生徒指導（問題行動減少に影響している）必要である。
 - ・学校全体で取り組むことで一体感が生まれる。
- 7 自己肯定感の情勢→日々の学校生活の中で活躍できない（光が当たらない）生徒でも活躍の場を提供でき
- 8 学校全体が地区陸上に向かうための取り組みを行う上で、団結力が上がると思います。
- 9 「成果」としては、生徒の団結力がうまれる。生徒は地区陸上があることで次年度の目標が生まれる。悔しい、楽しい、嬉しい、悲しいなどの感情が生まれることで感受性も含め人間性を高めることができる。身体的な成長に加える精神的な成長も得られる。普段の部活動とは異なるメンバーや環境で心技体を高める事ができる。
「意義」としては、生徒の活躍の場の提供。生徒の心身の成長。生徒の心技体を高める。生徒の人間性の育成。
- 10 生徒が少ない学校は特に学校全体で地区陸上に向けて気持ちを高めることができる。
- 11 生徒の活躍の場。学校代表としての自覚。
- 12 練習から頑張る姿がみられた。
- 13 大会へ向けて生徒が自ら考え、周りを巻き込みながら練習に取り組んだ。その1日1日が生徒にとって濃い思い出にもなっている。
- 14 生徒の感動と悔し涙
- 15 地区陸上の取り組みを通して努力した分結果がついてくるということを身をもって感じられるところを学校ではできない学びではないでしょうか。
- 16 全校体制ではなく、通常部活動との並行活動ができ
- 17 教員のスキルアップ
- 18 生徒の自信につながる
- 19 他の部活動をしていた生徒が高校進学で陸上したいと様々なスポーツの幅が広がっていると感じる
- 20 時期の見合わせと、練習の取り組み方が課題だと思えます。
- 21 生徒達の成長
- 22 学校全体が盛り上がった。
- 23 陸上を通して、心身の健康の向上や学校への誇りを持つことができる、仲間の頑張りを応援したり自分の努力を周りに認めてもらえる機会になる。
- 24 生徒との信頼関係
- 25 子どもたちの活躍の場は一つでも多い方が良い、専門種目で活躍できなかった生徒も陸上で頑張れる子ども多いと感じる。
- 26 体力向上、学校生活に意欲的になる。目標を掲げ努力することで自己肯定感などにいい影響あり。
- 27 生徒の活躍の場になることが成果であり、全職員体制で取り組む意義がある。
- 28 選手・応援団への教育的効果
- 29 学校力が上がり子ども達も目標に向かって頑張れた！みんなで取り組んでいるという一体感が味わえ地区陸上を通して自己肯定感が高まった！
- 30 生徒達に夏休みから大会まで、個人種目を全体練習の中で練習し、それぞれ目標を持ち、選手に選ばれたら、学校代表としての責任を持つことができる。ということに意義を感じます。
- 31 いろいろ競技の生徒が「陸上」にふれ、陸上も含め、自身の競技の競技力の向上につながる。生徒の新たな可能性が広がる。学校ごとの絆や団結力が生まれる。離島校にとっても他の学校と競い合い、交流等、他の学校の様子や雰囲気を見ることができ、学校としての盛り上がりや、成長の場になる。
- 32 生徒指導上問題のある生徒が、陸上を通して改心するきっかけになる
- 33 粘り強く取り組むことの大切さを学んだ生徒が多かった。
- 34 陸上部ではない部活動に参加する生徒（レギュラー・補欠）が自分に合ったスポーツ、例えば団体競技では力が出せないが、個人競技では頑張ることができるなどがあると思う
- 35
 - ・生徒との関係性づくり
 - ・体力の向上

- 1 ①限界突破②健康増進③思い出作り④絆づくり
- 2 体力向上 自信の獲得
- 3 練習から本番まで全校生徒、全職員で参加し一体感が生まれた。
あれだけの人数がいる中で高めた技能を披露したり競い合ったりする経験ができることは生徒にとって大きな意義がある。
夏休みから約2ヶ月間の練習で生徒の基礎体力に成長が見られた。
- 4 得意な種目を持っている選手（上位を狙える選手）は達成感を味わえる。
- 5 陸上競技専門以外の生徒が陸上競技を経験できること。
- 6 選手団には達成感があるだろう。
- 7 成果としては競技を通して肉体的・精神的に成長した生徒が一定数存在する。
- 8 生徒の体力向上
- 9 粘る力は成果として出ると思う。
- 10 生徒の達成感が見て取れる。
- 11 常時部、球技部の体力強化になる。陸上・駅伝の取り組みを終えて、常時部・球技部に戻ってプレーをすると、体力が向上していて、技術面が上達している。
- 12 自己目標を立て、達成するために粘り強く取り組む生徒もいる。
- 13 学校での一体感
異学年での交流
活躍の場の創出
他競技から陸上競技への変更
- 14 代表として参加し、所属意識を高める。努力の成果を実感する。課題の克服。成長の実感。
- 15 生徒の頑張りや生徒の達成感、成長は感じられる。
- 16 体力の向上など一定の効果はみとめる
- 17 生徒の自信や充実感につながる。教師と生徒との関係性を築く事ができる。学習で活躍できない生徒も活躍の場となる。等々、成果はたくさんあるが教員の犠牲も大きい。指導者が確保できるのであれば絶対に行った方がいいと思う。
- 18 成果も意義もあるのでしようが、負担の方が大きすぎる。
- 19 自分の競技以外のもの（陸上競技）に挑戦できるのは大変よい経験であると思うが、その経験は大規模校の生徒にとっては一部である。
- 20 全校で応援する事による学校の一体感。
- 21 生徒の達成感や充実感
- 22 苦しい練習に耐え、大会を終えた後の生徒の充実感はとても高まる成果はあると思う。そのことで自己肯定感も高まり、今後の学校生活にも結び付いてい
- 23 ・基礎体力の向上や足腰強化になると考える
・大きな舞台（陸上大会）に参加し走ることは、緊張感などを味わうことのできる。
・速い選手や頑張っている選手を見ることで自然と応援したい気持ちが湧いてくる
- 24 活躍した生徒の自尊心の形成。学校全体の団結力の向上。
- 25 生徒の活躍成長の場は確実にある。
- 26 身体能力の高い生徒の活躍の場、部活動生の体力強化にはつながると思うが、部活単位での参加や全職員での取り組みなどで負担を感じる
- 27 学校単位の運動会ということで、学校の一体感や他校の良さを知ることができるのが成果だといえる。
- 28 団結力。選手は部活動の協議枠を越えた多様な体
- 29 生徒を褒める材料が増える
- 30 成果は十分にあると思います。最後の県陸上も感動でした。しかし、ここに行き着くまでの取り組みは負担過重があります。他の陸上大会も明日ので、県陸上が終わる年に揃えて地区大会も終えていいと考える。今年度終わらないと、今後終えるタイミングがなくなると思う。
- 31 意義 生活習慣の改善 健康体力増進 協調性・リーダーシップの育成 思い出づくり
- 32 生徒の活躍できる場という面でき大きな役割を果たしたと考える。
- 33 終えた後、生徒がいい顔している。
- 34 生徒が真剣に目標に向かって取り組むという経験ができた。
- 35 特にないです。
- 36 ない
- 37 特になし。
- 38 成果としては、子供達個々の可能性を伸ばしたことや学校が一つになって取り組み一体性が生まれたことなど。
- 39 参加した生徒の成長、いろんな部活動のメンバーとやりきった達成感
- 40 各学校の比較的的身体能力が高い生徒が、陸上競技大会に出場することを通して、学校代表として認められ、校内で切磋琢磨する経験は素晴らしい。
- 41 成果は、部活動で走り込みをしない分、陸上の取り組みで走り込みができるところは良かった。
- 42 部活動の垣根を超えて取り組むことで団結力が高ま
- 43 生徒の達成感
- 44 練習に参加している生徒に関して、①夏休みに崩れがちな生活リズムが整えやすい、②運動習慣ができる、③夏休みにこまめな教育相談ができる、④非行防止につながる、⑤二学期の大会に向けて目標をもって取り組める環境になっている
- 45 成果として、生徒の基礎体力作り、生活習慣の確立、学校チームとしての団結力など多数あるとは想
- 46 学校代表として参加することで、誇りや自覚を持って取り組む生徒が多くいたので、部活動以外で他の学校と競い合える環境はとても良いと思いました。
- 47 なし
- 48 生徒は、成長したと思います。
- 49 達成感やこの時期にしか得ることができない体験の活動は有意義ですばらしい成果がある。が、トータルで考えると、他や地域移行でよいと思う。
- 50 経験のない生徒たちへの体力向上には少なからずつながっていると思う。また、ごく少数ではあるが、所属している部活動競技から陸上へ転換する場合もある。素人なりにみんなでワイワイしながら団結し楽しかったと話す生徒もいた。
- 51 生徒は努力した分が結果として現れる子には、成果があると思います。
- 52 学校としての団結力
- 53 部活動以外での先輩・後輩のつながり、生徒の仲間意識の向上や達成感、普段関わることが少ない生徒との関わりなど
- 54 部活動を引退した3年生の、夏季休業中の問題行動抑止になっていたと思います。

- 55 子どもたちの一致団結、頑張る大切さを学ぶことができる
- 56 勝つ喜びを体感できた生徒がいた
- 57 生徒の忍耐力や運動能力についての成果はあると思う。
- 58 学校の一体感
- 59 終わった後の子供達の達成感など
- 60 能力がある生徒の発掘に繋がる
- 61 各中学校の先生方の頑張りや生徒の頑張り達成感が見られるが、小さい学校ほど取り組みに負担があるような気がする。
- 62 学校としての一体感を感じるが、最終的には選手に選ばれた一部の生徒
- 63 選手の体力向上と実績作りには良かった。
- 64 ・成果意義ありません。負担です！！
- 65 本番は応援の生徒管理のため、ほとんど競技を見られなかったが、選手が練習を頑張っている姿はとても良かった。
- 66 生徒の陸上に対する意欲が上がった。
- 67 生徒の成長や3年生の活動の場になっている。
- 68 他競技に取り組んでいる生徒の中には、陸上に取り組むことで、その才能を開花し、更に成長へとつなげていく生徒も多くなります。また、全学校が、一堂に会し、学校の名において競い合う、真剣勝負を行うことの素晴らしさを感じる取り組みであったと思います。しかし、一方で、同調圧力を感じ、取り組まなければ、自身が主体的に取り組んでいる競技においても、低い評価がなされ、やる気や主体性を失ってしまう生徒が毎年輩出されてる現状も感じています。
- 69 基礎体力の向上、学校一丸となって取り組む団結力、やり遂げる達成感
- 70 学校としてのまとまりを感じる。特に、部活動の垣根を越えてまとまること出来るのはとても大きな役割だと感じる。
- 71 地区陸上の取り組みを通して、体力向上や団体で行動するときの規範意識の育成につながった。
- 72 継続する力、チーム・学校力の向上 地区陸上で生徒が新たな可能性が発見できる場ができた。
- 73 生徒の自己肯定感の向上（努力など）
- 74 陸上が好きで生徒たちのチャレンジの場
- 75 選手に選ばれた生徒にとっては、自分の記録を伸ばそうと練習に取り組んだり、試行錯誤したりした経験が、今後の生活などの様々な場面で活かしていけるという意義があると思う。また、学校を代表してたくさんの観客に見られながら競技するということが、生徒の自己肯定感や自己有用感の向上につながるのではないかと思う。
- 76 生徒の達成感、目標をもって頑張る力、仲間と一緒にやる喜び、思いやる心等、今後の活力になると思います。
- 77 頑張って取り組んだ生徒はいろんな成果がある
- 78 練習してきた成果を出せる
- 79 学校の連帯感、部活動生全員で体力向上。皆で1つのことに向かうことの大切さ。
- 80 その場に行くため、参加するため努力をする場頑張ったことに対する達成感も得られるのでは？
- 81 成果、意義はあまり感じられない
- 82 体力向上、部活動に関係なく取り組むことで、学校代表としての連帯感や責任感、達成感がうまれると思う。
- 83 授業では見られない子供たちの輝く姿が見ることが出来ます。褒める材料になります。
- 84 生徒・教師間の信頼関係の構築
- 85 運動が得意な生徒、勉強が得意でない生徒には活躍の場はあった
- 86 今は考えられない
- 87 もちろん競技力・体力の向上はある
- 88 生徒の生活リズムや体力の向上に良い効果がある
- 89 選手として参加できる生徒にとっては活躍の場、他校の生徒とのスポーツを通じた交流の場となっている。自身の記録についても向上心を持つ生徒もいる
- 90 体力向上にはつながっているが、部活でも体力はつきます。
- 91 体力の向上
- 92 子どもたちの活躍の場
- 93 忍耐力をつけたり、生徒の能力を開花させたり、伸ばすと言う意味では成果はあると思います。
- 94 特になし。
- 95 生徒の活躍する場の提供
- 96 選手に関しては、陸上競技に関する知識・理解を伸ばし、練習内容など自分の能力を伸ばす方法を身につけさせることができた。また、粘り強く取り組むことの大切さ、仲間と切磋琢磨するチームワークや向上心、自己肯定感を育てることができた。

地区陸上の成果・意義（教職員・どちらでもよい）

- 1 達成感や仲間意識が出た
- 2 体力向上及び運動する機会を作る事が出来る。学校全体で取り組むことで、達成感を味わえる
- 3 コロナ禍を経て、体力が、落ちていると思われるが、大会のために、練習する中で、いろいろ得られるものがあるのかなと思います。
- 4 苦手なことに挑戦する
- 5 地区陸上大会に参加することができた
- 6 体力の向上、チームとしての連帯感・責任を意識づけるのには良い。また個々の能力の発見や競技の楽しさ等を知り、また興味を持ち、将来の道標に一役かっている部分もあるのではないかな。
- 7 子ども達の体力向上。目標があることで学校生活を充実して過ごしている様子も見られる。
- 8 部活以外の生徒の活躍の場がある。
- 9 地区陸上に向けて多くの生徒が真剣に向き合う姿を、職員が認める場面でもあり、一生懸命目標に向かって努力できる仲間を子どもたちも認め応援する雰囲気や学校でつくることができた時には、学校行事に負けにくいぐらい意義があると思います。
- 10 国頭地区の中で、陸上競技を通して部活動以外の面での成長の機会や新しい可能性が見られた点など。
- 11 陸上競技を通して、生徒自身が自分と向き合う姿、目標に向かって努力するひたむきな姿がみられた
- 12 短期間の取り組みで、生徒、先生方、保護者、地域の方々が一丸となって、取り組めたのが良かった。全校生徒、全職員、全保護者が取り組むことで、連帯感が生まれ、今後の諸活動に活かすことができる。
- 13 生徒の活躍できる場、学校の一体感を高める場としては意義がある。
- 14 部活動生徒が他の競技に触れることで体力の向上や高校進学後の選択肢（部活動）が増える。球技から陸上へ進んだ生徒も多くいる。部活動引退後の生徒の居場所やモチベーションの確保など。
- 15 脚光を浴びることがあり良かった。
- 16 居場所、頑張る場所、活躍できる場となる子どもたちがいる
- 17 部活動の垣根をこえ、仲間と共に苦しい練習を耐え抜き、学校が一丸となって一生懸命取り組む姿が見られたこと。地区陸上で練習したことが部活動に活かしていること。
- 18 継続して目標に向かって頑張るという意識と達成感が感じられ、他学年や他の部活との交流ができる。
- 19 体力向上、粘り強さにつながる、達成感などが生徒に身につくと思う。
- 20 ・記録を見て、活動したい意欲が高まっていくのは成果だと思う。職員や保護者から褒められ、良い表情をしている姿も見れるのは成果だと感じる。
・子供たちの体力向上や自己肯定感の高まりに繋がる取り組みをすることが陸上大会をする意義になるのかなと感じる。
・多くの職員が練習や大会役員として、子どもたちに関わり、国頭地区全体で生徒のサポートをしていると感じさせることができたなら大会の意義があるのかなと感じる。大会やそれまでの取り組みで得たことを、学校生活に繋げさせることが必要だと思う。
- 21 中学生の体力向上・健康維持
- 22 1学期に関りがなかった他学年の生徒に対しても地区陸上によって育まれた信頼関係が築けたと感じた。
- 23 生徒の体力面の向上。
- 24 生徒の競技への取組を通して、学校が一つになって取り組めることについては意義がある。
- 25 3年生は集大成。1, 2年生は「次年こそ！」という励み。その時でないといけない全体での走り込みや体づくり
- 26 学習が苦手な生徒の活躍できる場
- 27 一致団結・絆
- 28 一番は子ども達のキャリア教育の面です。目標を持って何かに取り組むことは、将来の力になります。ましてや学校対抗となると学校がチームとして機能するのでそれこそが意義だと思います。
- 29 運動（体力の維持向上）。生徒の活躍の場がある。達成感、充足感など。
- 30 学校の一致団結
- 31 陸上というシンプルかつ重要な運動を、みんなで取り組むことができるし、これを機に高校から新しい競技を始めるきっかけになる。異なる部活どうして協力したり、学校全体の取り組みとして、苦労や思い出を共有できる。
- 32 成果：生徒の目標に向かって日々頑張る姿。意義：陸上に秀でた生徒の活躍
- 33 陸上の取り組みによって、生徒が前向きになった。学校生活に良い影響を与えている
- 34 普段、学業の面では力を出せない子たちの輝ける場所。また、力を合わせて練習を積み重ねていくことで、生徒たちの表情や生徒同士の仲が深まっているのを感じることが出来た。
- 35 全体で取り組むことで、コミュニケーションを図ることができ、「チーム」を意識することができる。
- 36 学校全体として取り組めること、部活や学年の枠を超えて学校が一つのチームになり、戦えること。勉強以外での生徒へのスポットライトが当たる場面であること。
- 37 生徒の粘り強く頑張る力がみにつく。
- 38 子供たちの成長の機会。活躍の機会が増える。子どもたちと関わる時間が増える。
- 39 小規模校の子どもたちが、他校の人と交流できた。学校ではダントツでも、上がっている事を見せることができた。次はこうしたいという前向きな子どもの声があがった。
- 40 学校に誇りを持てる
- 41 学校代表という意識が生まれる
- 42 参加したメンバーは自分の部活以外のところで学校の代表として参加することでまた違った力をつけることができ、学校単位で頑張るということを学べる場ではあると思う。

- 1 目標を持ち頑張る、体力の向上、仲間と頑張る
- 2 年々遅くなる
- 3 前項回と同じ
- 4 外部との連携
もっと保護者巻き込んだ方がいい。
- 5 去年に引き続き、今年もリレーに参加させてもらいました。休みの日もみんなで練習をしたり、声をかけあったりととても頑張っていました。残念ながら良い結果にはなりませんでしたが、色々な面で成長した感じですよ
- 6 子供自身の達成感や悔しいと思う気持ち
- 7 なかなか他校と競う機会がない為、自分のレベルを確認出来る。自信に繋がると思います。
- 8 学校の結束力が上がる。出場している選手は、目標を持って練習に励むことで、日頃体験できない緊張感の中での真剣勝負が各選手の成長につながると考える。
- 9 先生、友達と一緒にひとつの目標に向かって取り組み、頑張っていた。
- 10 ・心身ともに成長できる。
- 11 結果と共に自信に繋がる。
- 12 目標をたて、自分自身と向き合う事ができる。高校になっても陸上を続けた。
- 13 達成感、はあるはずですよ。陸上以外の部活に入っているがそこでは出場機会も少なく気持ちが沈みがちになるはずだが、逆に陸上で自分の知らなかった競技で勝った時の嬉しさや自分の違う能力が周知できるとやってる意義があるのでは？
- 14 1の回答と同じ
- 15 子供達は、先輩に可愛がってもらったからか、自分が上になった時、後輩を可愛がって一緒に走って部活以外の後輩とも仲良くやっていた。走るの、他の中学校に負けていたけど努力した事は、自信になって受験の時に役立ったようです。走るだけでは、なくて支える側の事も分かるようになる。
- 16 参加生徒の今後に経験値として残す意義
- 17 陸上競技は多様なスポーツの基礎となるので他のスポーツの競技力向上に繋がる。また、学校対抗と言う観点から、母校、地元地域への愛着が生まれる。
- 18 賛成理由でもありますが、毎年、陸上練習に参加することで体力、技術の向上がみられる。学年を超えて、先輩、後輩と助け合ったり、仲良く話せたりもでき、他校の友達も増え、とても充実した夏休みとなってえいるから。また、陸上での過ごし方が、後輩への声掛けの仕方など部活にも良い影響を与えているように見られる。
- 19 部活以外の色々なスポーツに挑戦できる！
- 20 本番までの練習の積み重ねの大切さ、横のつながり、体力の向上、同期レベルの確認、個人・地域・学校の連携。
- 21 毎日の練習は大変だったと思うけど、大会での結果に本人が涙を流してた姿を見た時、大会に出場できて良かったと思いました。
- 22 陸上を通して身心の成長が見られる
- 23 努力の成果が表れることで、達成感や自己肯定感を感じる事に繋がっている。
- 24 他校生徒との交流と自分の努力の評価
- 25 向上心にも繋がる
- 26 体力向上
- 27 学校や子供達の団結力や仲間意識が芽生えるのでは
- 28 学校、保護者、地域が一つになれると思います
- 29 夏休みの規則的な生活様式
- 30 陸上の楽しさを知り、親子の会話が広がったり、子供の視野が広がった。
- 31 陸上部を持たない学校でも、競技に参加出来る貴重な機会、また親の経験に依らずどの子にもチャンスがある。中学の地区陸上を経験して、高校では陸上競技を始める子たちもいるため、意義があると思う。
- 32 参加した事によって 陸上競技に興味が出てきた。
- 33 大会の成果は素人なのでよくわからないです。意義を生徒に教えていくのも教育だと思います。
- 34 色々な部活で普段あまり関わらない子も一緒に参加したり応援したりするので、学校としての団結力とかでる気がします。
- 35 自身の現在の順位を知ることができ、次回に向け、頑張ろうと意欲につながる
- 36 体力の増進
- 37 学校が一つになって練習してきた成果が発揮でき
- 38 高成績を残さなくても達成感や次につながる活力を養える
- 39 私も妻もそして娘も地区陸参加しましたが、昔のような盛り上がりはありませんが、普段味わえないような空間に立つことで、心身ともに成長すると思います。今回最後の県陸上では「チーム国頭地区」総合優勝。最後のウイニングランは心に残りました。
- 40 陸上競技の普及。記録向上。
- 41 学校が丸一丸となる。そこから代表となると、また国頭で丸一丸となり戦う楽しさを味わえている。そういう経験から他校と合流ができ、コミュニケーションを図れるようになっていく。消極的な息子が積極的になり、友だちの輪が広がっている。体力作りの一貫にもなっている。自分では気づけない能力に気づく事ができる。
- 42 ありません。
- 43 これまでの陸上競技者育成に多大な貢献を果たしている。このお陰で現在の国頭郡陸上や県民大会などが継続できていると思う。
- 44 やりとげる達成感、悔しいという想いや、記録更新したという喜び、大変だ、やりたくないなど、たくさんさんの感情を体験して、人として成長できるものだと思います。普段、なかなか取り組むことができないことを、集中的に取り組む、短期間で成長する。仲間との絆も深まり、とてもいい取り組みだと思います。実際、私も30年経った今も記憶に残っているものです。
- 45 特になし
- 46 自分の学校や選手を応援して、一致団結できる。歴代の記録も残るので、記録への挑戦など、目標が明確。
- 47 皆で取り組み、達成感や喜び悔しさを共有出し団結が強まる。そして良き思い出ともなる。また、競技を通して、他校生徒との交流も出来る。
- 48 自分の実力を知ることができる。
- 49 練習を通して、結果の達成感悔しい気持ちを子供達が知ることが出来る
- 50 たくさんあります
- 51 特になし
- 52 競技成績の向上に寄与！

- 53 運動の基礎となる体づくりができる。勝ち負けだけでなくタイム等目標設定ができ取り組める。小規模校でも個人競技があるためチーム競技の部活と違い取り組める
- 54 仲間意識の向上と目標に向かう姿勢を養う事が出来る。
- 55 特にない
- 56 努力することによる結果
負ける悔しさ
応援のありがたみ
- 57 真剣に取り組む事で、短期間でのスポーツ能力向上に繋がる。球技等の団体競技とは違い。本人の努力の成果が大いに結果に繋がるし、新たな素質の発見にもなる。
- 58 運動部に所属している子供達にとって地区陸はいい大会だと思います。
- 59 生徒によっては高校進学の際の自己アピールの一つにもなるのでは？
- 60 陸上競技というものを内側から知れる。少しでも触れておけば卒業後の人生も知らないよりは、豊かに歩める。
陸上部ではない生徒にとっても、身体能力の向上、スポーツの基本である「走る」ということをレベルアップさせることができ、競技力の向上を見込める。
- 61 日々の練習の成果を多くの人が見守る中で披露することは重要であると思う
- 62 今も続く駅伝練習含め、走っている時は苦しい時もあると思う。けれど、それ以外の時間で得た仲間との交流が楽しそうなことが伝わってくるので、我が家にとっては意義があった。
- 63 何事にも一生懸命取り組むようになりました
- 64 他校と競い合う事でお互い向上心が芽生える
- 65 陸上練習を通して、生涯 自らスポーツと関わる力が養われる子も必ずいると思う
- 66 このような大会があるからこそ、向上心も自然と身につく
- 67 体力向上にも繋がるし競技する事で自分のレベルを知る事ができる。練習に打ち込み実力を最大限に発揮できる。スポーツ、陸上等に打ち込める行事も減っているし活躍できる場だと思います。練習に意義があると思います
- 68 他部活動生陸上競技をやる機会
- 69 わからない
- 70 チームワークもそうですが、最後まで懸命に走りきる姿は順位に関わらず素晴らしいことです。
- 71 毎日の練習疲れで、塾も行けない状況で成果も何もありません。
- 72 地区陸上を通して、県や、全国を志す選手も多いと考える。
- 73 6月に中体連で負けて、活動が終わった3年生や、陸上の経験がない子供達が、学校の他の生徒たちと、学校での地区陸上の目標に向かって、頑張る事は、生徒の今後の活動の視野を広げる事、他生徒との協力、コミュニケーションに繋がり、意義があると思います。
また、これを機会に、進学して陸上を始める子供達や部活を変えて頑張ったり活躍する事は、生徒の成果であると思います。
- 74 わからない
- 75 選ばれた選手、参加する事で自信にも繋がると思います。
- 76 違う部活の生徒とも交流が増え、同じ目標に向かって切磋琢磨できる。
人との関わりが減っていく現代では、とても貴重なこと。
- 77 やっている子のやったあとのモチベーションや高校進学等に関わる子もいると思うので
- 78 前述した内容と同じ
- 79 普段は別々の部活動に所属している子供たちがチーム一丸となって学校代表で勝負して応援する。
良い経験だと思います
- 80 中学生の学校生活の中で一番大きな地域交流の機会となっており、社会教育の視点で今後のキャリア形成や進路の選択など数値化できない教育的意義や成果がある大会だと思う。
- 81 体力増進や、また、チームとしての目的や達成するまでの過程を学んでいってほしい

地区陸上の成果・意義（保護者・継続反対）

- 1 走ることはスポーツの基礎としているので、陸上競技を通して走ることを大事にしてほしい
- 2 特に無い。
- 3 団結
- 4 地域、教員、生徒、やりたい方々だけ、自由参加で継続すれば良い。決して強制ではない
- 5 よく分からない
- 6 何の取り組みをしているのか、何の成果があったのか知らない
- 7 陸上だけで個人の成果、意義があるわけではない。
- 8 感じない
- 9 わからない
- 10 体力増強
- 11 地区内の交流
- 12 参加できれば自信に繋がる
- 13 一生懸命に生徒、先生方が団結して頑張っていることはとてもありがたいことです。スポーツをすることで、体力、知力、精神力はUPして人間性が育まれていると思います。
- 14 陸上を通して不登校になったので成果を感じない。体育教師のパワハラが強く今の中学生にはやり方が合っていない。大人になっても運動を楽しめる人間になって欲しかったが、陸上練習を通して運動が嫌いになってしまったのがおやとしては残念。
- 15 自分の子も他の生徒たちも成長の様子が感じられない
- 16 ない
- 17 ないです、学校側もただノルマをこなしている感じで意味はわかりませんでして。
- 18 子供達は達成感があるので、良い経験だと思いません。
- 19 関心がないため、特にありません
- 20 ありません。
- 21 一体感がうまれる。
- 22 団結力の強化
- 23 学校の団結
- 24 本当に陸上が好きで取り組んでる子には目指してるものがあっていいと思いますが、別の部活に所属してる子に無理矢理させている状況ではやる意義があるとは思えません。
- 25 きちんと陸上部を作っている学校が参加した方がよい。
- 26 普段ふれることのない種目にとりくめること
- 27 やり遂げるという充実感

地区陸上の成果・意義（保護者・どちらでもよい）

- 1 チームの結束力が高まる
- 2 特になし
- 3 子ども達が真剣に取り組む姿が、カッコいい！
- 4 日々の練習の中で体力など確かにつきました。
ただ、ものすごく暑い時期に練習し、何度も熱中症
ぎりぎりになり心配になりました。
体力ついているのか、
それとも、暑さで体力消耗してるのか…。
親からすると心配な毎日でした。
- 5 なし
- 6 子供達の団結、成長が見られる
- 7 自分の実力や才能を発見できる場
- 8 選考するんじゃなく、やりたい人をさせたい。
- 9 他校と競う事で自分の学校に愛着が湧く気がする
- 10 学校代表としての自覚が芽生え
それを持ち帰る事で学校の色になり
各学年、一致団結する事でそれぞれの役割りを学ん
でいるかなと思います
- 11 なし
- 12 特になし
- 13 陸上が得意な子の活躍できる場、目標となっていた
と思います
- 14 団結力、目標の達成など
- 15 練習を通しての成長、大会での自己記録更新など、
大会意義、成果は充分に感じる
- 16 特になし
- 17 うちの子の場合、足を怪我して部活動ができないで
いたので、マネージャーとしてでも関わられたこと
は、親として有り難かったです。
- 18 なし
- 19 部活をしていない生徒、陸上部のない学校には一年
に一度の大舞台なので、そこで自分に自信を持てる
子もいると思います。
- 20 陸上競技は、他の競技にも共通する基礎体力をつけ
る事が出来、また、大会に参加する事により自己達
成感や、チャレンジ精神を培わせる競技だと思いま
す。
- 21 知らない競技に挑戦できるチャンスがある
- 22 基礎体力向上
- 23 達成感
- 24 それはもちろん、こどもたち目標持って取り組んで
いるとおもうし、体力、技術の向上も大切だと思いま
す
自分の時代には、応援の選手は、応援歌歌って、学
校代表を応援して団結も図れたしい思い出です
先生方の負担が大きい事など、改善していく必要が
あるんですね
- 25 ？
- 26 挑戦と努力
- 27 ない
- 28 一致団結、友人を応援する気持ち、気にかける気持
ちは素晴らしかったと思います
- 29 普段は専門のスポーツをやっているのが、陸上競技
に参加する意義は有意義だとおもう
- 30 特になし
- 31 持久力が上がった
- 32 特になし